

特集

尚綱大学生によるレポート 12

他の町の「議会だより」を見てみよう！

今回は大津議会だよりをより良くするために他の議会だよりと比較して改善点を提言します。他の町の「議会だより」について調べてみました。

☆先進事例① 宮城県利府町

町村議会広報全国コンクールで平成28年度最優秀賞を受賞した宮城県利府町では「りふ議会だより」が発行されています。

全体を見た感想として、まず表紙には毎回子ども達の笑顔や頑張る姿が載せてあります。見る人に元気を与える表紙だと感じました。毎回40ページ近くあり、赤、黒、白をベースに記事が作られています。目を引く記事として「追跡レポート」あの提言はどうなっているの？」があります。数年前の定例会にでた意見に回答しているコーナーで、意見をお座なりにしていないことを町民に表明している点がとてもいいと感じました。

☆先進事例② 埼玉県寄居町

第32回町村コンクールにて最優秀賞を受賞した埼玉県寄居町の議会だより「お元気ですか 寄居議会ですNo.84」を見ていきます。

まず表紙です。一目見たときは議会だよりの表紙とは思えないほど可愛らしい子どもの写真が表紙となっています。議会だよりと聞くと堅苦しく、見る前から文字ばかりを連想してしまい、ページをめくる手が重くなりがちですが、子どもを表紙にすることにより、「議会だよりなのになんで子どもなの？」と見る側の意欲をかき立てられ、見てみようと思うのではないのでしょうか。

全体の印象としては議会だよりとは思えないほどの見やすさが目を引きました。

☆近くの町の事例① 益城町

益城町では「清水」という議会だよりが発行されています。

文字が統一されており、一般質問などでは、議員の主張が赤文字で書いてあり、わかりやすいと感じました。

目を引いた記事は「議員研修記」という記事です。議員が他県へ研修に行った際の視察した町の現状やそれについての感想が述べてあり、普段意見を言う立場である議員が感想を述べているのは新鮮みがあると感じました。

☆近くの町の事例② 菊陽町

隣の菊陽町の議会だより「きくよう」No.87を見ていきます。

全体的には見てほしい箇所の文字の太さや色が変わっており見やすいです。表紙は発行された月の関連として子ども達が綱を引いている写真が表紙となっており、季節感のある素敵な表紙だと感じました。

また、町としての目標も明確に書いてあり、町民としては自分の住んでいる町がどのような方針でやっているのか知ることができるのはとても嬉しいことです。

☆提言

今回調査してみて、もっと多くの人に議会だよりを手にして頂くために、以下のような意見ができました。

- ・色や文字を統一する
- ・見ていて楽しい写真を入れる
- ・見やすいレイアウトを考える
- ・議員が感想を述べる記事を書く
- ・町民の方々に意思表明を分かりやすく伝える記事を書く
- ・表紙に子ども達の頑張っている姿を多く採用する。

このような工夫で、もっと大津町議会だよりを見る人が増えればと思います。

今回の担当 白木 川上

